

「歴史に親しむ10冊」

文学部 准教授 長谷川 修一



- 『騎馬民族国家:日本古代史へのアプローチ』 江上波夫著(中央公論社 1967年)
- 『古墳の語る古代史』 白石太一郎著(岩波書店 2000年)
- 『記紀の考古学』 森浩一著(朝日新聞社 2000年)
- 『武士の家計簿:「加賀藩御算用者」の幕末維新』 磯田道史著(新潮社 2003年)
- 『オデュッセウスの世界』 M.I.フィンリー著 下田立行訳(岩波書店 1994年)
- 『長安の都市計画』 妹尾達彦著(講談社 2001年)
- 『稲作の起源を探る』 藤原宏志著(岩波書店 1998年)
- 『砂糖の世界史』 川北稔著(岩波書店 1996年)
- 『パスタでたどるイタリア史』 池上俊一著(岩波書店 2011年)
- 『ワインの世界史』 古賀守著(中央公論社 1975年)

優れた歴史研究は、優れた物語である。歴史研究とは、史料読解に基づき、緻密に論理を重ねていくものであるが、時にそれは読者の度肝を抜く大胆な推論を伴う。そこには研究者の不断の観察に裏打ちされた、人間という存在への洞察が滲み出て、読み物としての魅力を放つ。歴史の本質とは過去を物語るところにあることが実感できる。

ここに紹介するのは、それぞれ優れた物語として読める、わくわくするような歴史研究の書物である。この「わくわく感」と読み易さを優先し、学説としては学界に受け入れられていないものも敢えて取り上げた。

日本史の分野からは4冊挙げよう。1は戦前戦後の歴史学界を駆け抜けた巨人による大胆な仮説で、そのスケールの大きさが味わえる。2、3は、考古学という元来文献史学とは一線を画す学問から見た日本古代史を、想像力を駆使しながら論じる。緻密な史料読解に基づく研究成果を軽妙な筆致で描くのが4である。幕末の武士社会が現代日本のサラリーマン社会と酷似していることに驚かされる。

世界史からは6冊挙げる。『イーリアス』『オデュッセイア』に描かれる古代ギリシアの社会を、諸学問研究の成果を用いながら初心者にもわかりやすく提示する一級の入門書が5である。6は、日本からも留学生が渡って勉強した唐の都長安が、宇宙論的思想を踏まえて精巧に設計された宇宙の結節点であったことを論じる。我々が口にするコメはどこから来たのか。最新の自然科学の手法を利用し、考古学だけではわかり得なかった稲作の起源を明らかにしようとする労作が7である。8、9では、どちらも第一線で活躍する歴史学者が、モノと世界史との関わりを平易に論じる。砂糖やパスタといった日々食卓に上るものが世界の大きな動きといかに関係してきたのかを知ると世界を見る目が変わるかもしれない。10は西洋におけるワインの歴史を古代から書き起こす。読めばきっと、ワインを開ける楽しみも増すだろう。

[Information]

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス —立教大学図書館で使えるデジタルコレクション—

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは、「国立国会図書館デジタルコレクション」を、公共図書館や大学図書館に設置している専用の端末から検索・閲覧、複写^(*)ができるサービスです。立教大学図書館は国立国会図書館より利用承認を受けていますので、インターネットで公開されている資料だけではなく、絶版等で入手が困難な、自宅等では見ることができない「国立国会図書館/図書館送信限定」資料まで閲覧できます。^(*)皆さんの研究・学修に、是非お役立てください。

利用対象者は本学学生、本学教職員で、利用には申込みが必要です。受付・利用場所は以下までどうぞ。

- ・池袋図書館地下1階カウンター:地下1階専用席 専用PC1台
- ・新座図書館1階カウンター:1階PC席 専用PC1台池袋図書館

^(*)複写は有料です。^(*)「国立国会図書館限定」(のみ)の資料は閲覧できません。

立教大学図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービスについて」
<http://library.rikkyo.ac.jp/service/dlsoushin/>

国立国会図書館デジタルコレクション
<http://dl.ndl.go.jp/>



国立国会図書館デジタルコレクションサイトより

Your Library 第43号(通号102)発行日 2018年7月10日

編集 舩谷 鋭 (図書館副館長)
発行人 中村 百合子 (図書館長)
発行 立教大学図書館

<http://library.rikkyo.ac.jp/>
連絡先 TEL 03-3985-2628
印刷 立教プリンティングステーション



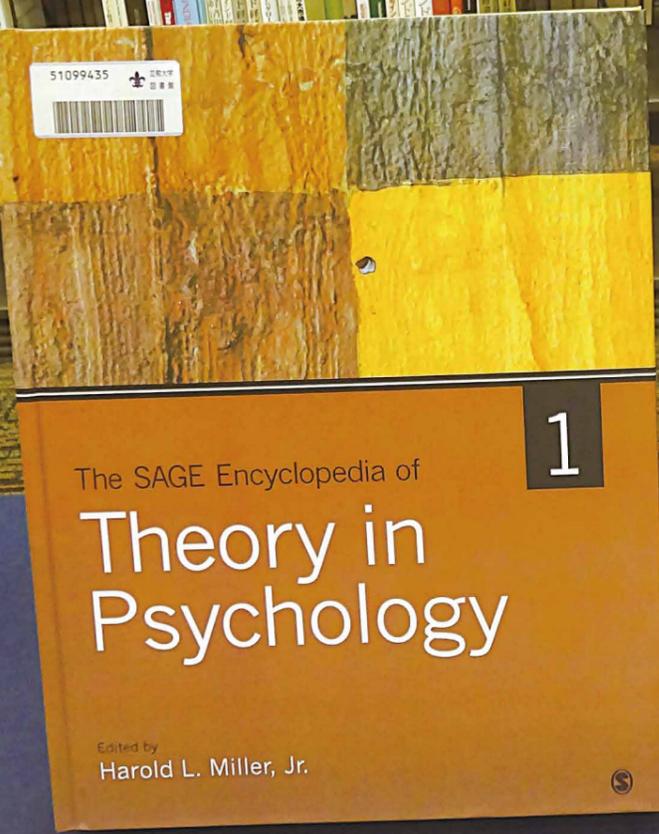
Your Library

立教大学図書館だより No.43 | 2018.07.10 | ISSN 1883-1303

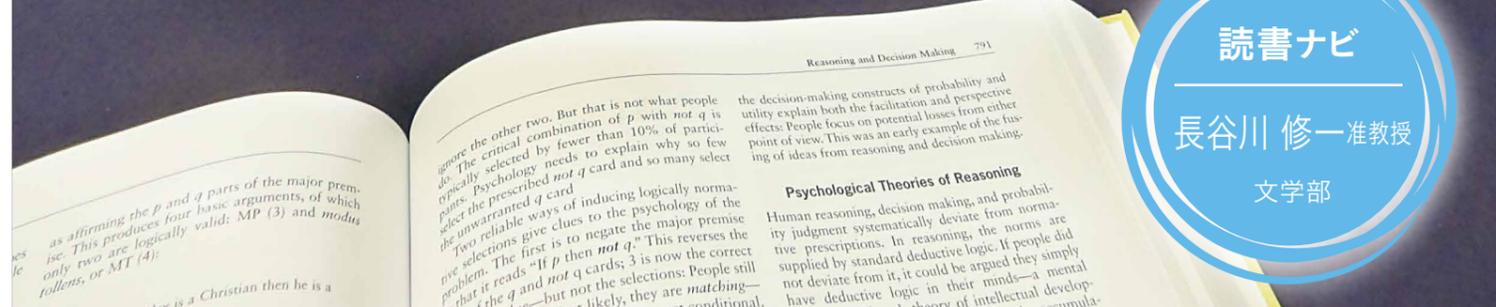
大学図書館で電子書籍体験



ProQuest Ebook Centralより



読書ナビ
長谷川 修一准教授
文学部



プラットフォームから探す

大学図書館で電子書籍？

READ

ディスカバリーサービス

から探す

電子書籍端末やスマホアプリの登場は、個人向けの電子書籍を身近なコンテンツへと変貌させました。今ではスマホを使って電車内でマンガを読んでいる人を見かけることも珍しくありません。…では、大学図書館を通じた電子書籍の利用はどうでしょう？ 実は学術専門書や事典・辞書のなかには、電子書籍として中身まで読めるものもあります。ということで、立教大学図書館で使える電子書籍を特集します！

(*1) 電子書籍:「電子ブック」「ebook」等の呼び方も。

電子書籍を探してみよう

電子書籍へのアプローチとして二つの方法を紹介します。

電子書籍提供プラットフォームである“MARUZEN eBook Library”を事例にして、トマ・ピケティの「21世紀の資本」を探してみよう。

(*2) プラットフォーム: そのシステムの動作環境、ここでは検索機能を持たせた電子書籍群を提供するウェブサイトを指しています。

(*3) ディスカバリー: 図書や雑誌等の紙媒体資料だけではなく、電子書籍などの電子媒体も含めて検索できるシステムです。

1 図書館ホームページから、[オンラインデータベース]をクリック。

OPAC 蔵書検索 READ 統合検索

立教大学図書館が所蔵する図書・雑誌を探す。

資料タイトル/キーワード

検索 クリア

① “オンラインデータベース”をクリック

3 目的別メニュー下部の“オンラインジャーナル・eBookを探したい”から、[MARUZEN eBook Library]をクリック。

※オンラインジャーナル・eBook(電子書籍)の[+More]をクリックすると、その他のプラットフォーム一覧が表示されます。

③ “MARUZEN eBook Library”をクリック

4 “購読契約タイトル一覧”をクリックすると、全文が閲覧できる電子書籍の一覧が表示されます。画面左の“絞り込み”を使うと、出版社の指定もできます。例えば[MARUZEN eBook Library]では、マグミラン社の外国語リーダーや、「地球の歩き方」なども閲覧できます。

■出版社「マグミランランゲージハウス」選択時のタイトル一覧画面

■「地球の歩き方」本文画面

[出版者/提供先]で「マグミランランゲージハウス」をクリック

閲覧可能なタイトルが表示されます

2 “リサーチツール(オンラインデータベースなど)”の画面から、[目的別]タブをクリック。

② “目的別”タブをクリック

4 外部サイト“MARUZEN eBook Library”のプラットフォームに画面遷移し、検索画面が表示されるので、“購読契約しているタイトルから検索”を選択した上で、検索語「21世紀の資本」で検索する。

④ “購読契約しているタイトルから検索”を選択し、検索語「21世紀の資本」で検索

5 資料がヒットするので、タイトルをクリックして表示する。“閲覧”ボタンのクリックで、本文が表示される。

⑤

1 図書館ホームページから[READ統合検索]タブを選択し、**2** 検索語「21世紀の資本」で検索する。

① “このタブ”

② 検索語「21世紀の資本」を入力し、検索ボタンを押す

3 READの検索結果において、「本文あり」と「図書・電子書籍」を選択し絞り込み、**4** 当該資料のタイトルをクリックする。

③ [本文あり]と[図書・電子書籍]を選択する

④ タイトルをクリックする

5 “コンテンツへのリンク”から“書籍”をクリック

⑤

立教大学図書館で使える電子書籍は？

立教大学図書館ホームページから、学内で利用できる電子書籍プラットフォームが紹介されています。図書館ホームページ⇒[オンラインデータベース]⇒[目的別タブ]⇒[オンラインジャーナル・eBookを探したい]から[+More]を選択(http://library.rikkyo.ac.jp/librarypress/search/ej_ebook/)してみてください。

立教大学図書館で利用できる代表的な電子書籍プラットフォームには、MARUZEN eBook Library、EBSCOhost eBook Collection、ProQuest Ebook Centralなどがあります。

リモートでも、電子書籍

電子書籍のメリットは、リモートアクセスで発揮されます。リモートアクセス設定(*4)をすることで、図書館に来館しなくても資料を閲覧することができます。

(*4) リモートアクセス設定:こちらを参照→ <https://bit.ly/2sPNhVY>

なお、全ての図書資料が電子書籍化されているわけではなく、特に国内出版物のタイトルはまだ多いとまでは言えません。ただし、年々電子書籍の出版数は増加しています。今後、新たなコンテンツ群として、みなさんに利用してもらえるよう、図書館でも積極的に購入していきます。ぜひ一度、大学図書館で電子書籍体験を。

注意

- 電子書籍プラットフォーム上の機能が全て利用できるわけではありません(ex.ダウンロード等)。
- プラットフォームにより、リモートアクセス設定や利用できる機器/OSに制限がある場合があります。

紙媒体の図書があって、更に電子書籍もある場合は、OPAC(*5)にも表示されます。この資料をOPACで検索すると、[Article Linker]という機能から、電子書籍等へのリンクが表示されます(館内のOPAC専用端末からは表示されません)。

(*5) OPAC: 図書館の蔵書目録検索システム(端末)。 <http://opac.rikkyo.ac.jp>

⑤

